

■コメント

1. 感染性胃腸炎

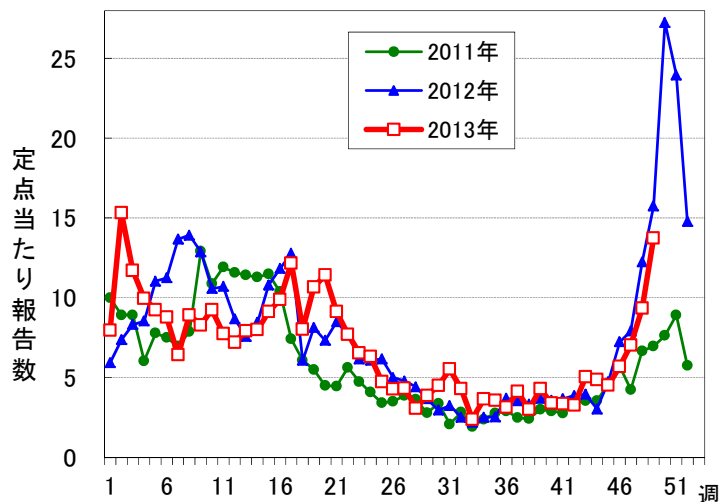
定点当たり13.7人と、4週続けて増加しています。
全国的にも感染性胃腸炎の患者が増加しており、これから年末にかけて流行のピークを迎える
と予測されるため、注意が必要です。

また、感染性胃腸炎の集団発生が1件報告されています。集団生活の場合は、手洗いの励行や
便・吐物の適切な処理など、予防対策の徹底が
特に重要です。

2. インフルエンザ

6人(定点当たり0.17人)報告されています。
(迅速診断キット:A型陽性4人、B型陽性2人)
手洗い・うがいの励行など感染予防を心がけま
しょう。

感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点 当たり	平均 過去 5年 (注)	発生 記号	疾患名	報告数	定点 当たり	平均 過去 5年 (注)	発生 記号
インフルエンザ	6	0.17	7.82		流行性耳下腺炎	13	0.57	0.48	
咽頭結膜熱	27	1.17	0.27	⇒	RSウイルス 感染症	9	0.39	1.18	↓
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	29	1.26	1.41	⇒	急性出血性 結膜炎	2	0.25	-	
感染性胃腸炎	316	13.74	12.26	⇒	流行性角結膜炎	5	0.63	0.65	
水痘	37	1.61	1.98	⇒	細菌性髄膜炎	-	-	0.11	
手足口病	4	0.17	0.18		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.12		マイコプラズマ 肺炎	-	-	0.49	
突発性発しん	9	0.39	0.57		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	
百日咳	-	-	0.23		感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	-						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	178	女性(10歳未満)・1人、男性(30歳代)・1人、男性(70歳代)・1人
4	つつが虫病	3	7	男性(60歳代)・2人、女性(60歳代)・市外・1人
5	アメーバ赤痢	1	7	男性(60歳代)
5	ウイルス性肝炎	3	11	男性(20歳代)・B型、男性(30歳代)・B型、男性(50歳代)・B型
5	後天性免疫不全症候群	1	23	男性(40歳代)・感染者
5	麻疹	1	1	男性(1歳)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタ ウイルス)	感染性 胃腸炎
報告 数	第45週	1	21	10	104	13	5	-	15	-	-	9	13	-	1	1	1	2	-	-	-
	第46週	-	34	29	131	22	5	-	10	-	2	16	14	-	7	-	4	-	-	-	-
	第47週	2	25	24	162	28	1	-	15	-	3	9	17	-	6	-	2	1	-	-	-
	第48週	2	26	28	215	47	4	1	7	-	2	12	18	-	3	-	-	-	-	-	-
定 点 当 た り	第49週	6	27	29	316	37	4	-	9	-	-	13	9	2	5	-	1	-	-	-	-
	第45週	0.03	0.91	0.43	4.52	0.57	0.22	-	0.65	-	-	0.39	0.57	-	0.13	0.14	0.14	0.29	-	-	-
	第46週	-	1.48	1.26	5.70	0.96	0.22	-	0.43	-	0.09	0.70	0.61	-	0.88	-	0.57	-	-	-	-
	第47週	0.06	1.09	1.04	7.04	1.22	0.04	-	0.65	-	0.13	0.39	0.74	-	0.75	-	0.29	0.14	-	-	-
全 国	第48週	0.06	1.13	1.22	9.35	2.04	0.17	0.04	0.30	-	0.09	0.52	0.78	-	0.38	-	-	-	-	-	-
	第49週	0.17	1.17	1.26	13.74	1.61	0.17	-	0.39	-	-	0.57	0.39	0.25	0.63	-	0.14	-	-	-	-
	第47週	0.27	0.46	1.49	6.72	1.15	0.64	0.06	0.49	0.01	0.07	0.22	1.30	0.01	0.61	0.02	0.04	0.45	0.03	0.03	0.03
	第48週	0.44	0.57	1.90	10.33	1.64	0.59	0.07	0.56	0.01	0.06	0.28	1.35	0.01	0.58	0.03	0.03	0.40	0.03	0.03	0.05

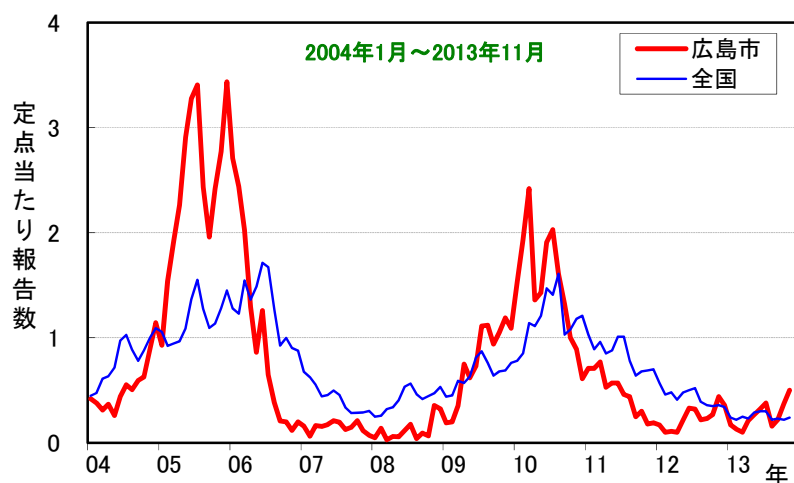
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(37.6) 嘔吐 下痢 腹痛	0	男	2013/10/09	糞便	パレコウイルス4型 サボウイルス
無菌性髄膜炎	発熱(38.0) 髄膜炎	15	男	2013/10/25	髄液	エコーウイルス30型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.7) 紅斑 関節痛・筋肉痛 上気道炎 気管支炎 下痢	4	女	2013/10/26	咽頭拭い液	エンテロウイルスNT ライノウイルス
その他の疾患	発熱(38.5)	0	女	2013/09/20	糞便	パレコウイルス4型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における流行性耳下腺炎の最近10年間の発生動向 (2013年11月まで)



流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、ムンプスウイルスを病原体とする感染症で、耳の下のあたりが腫れて痛くなるのが特徴です。

季節変動はあまりなく、年間を通じて患者がみられますが、3～4年の周期で増減する傾向があります。

最近の広島市では、2009年から2011年の前半にかけて流行しましたが、2011年の後半から約2年間、流行はほとんどみられていません。

しかし、流行の周期から、そろそろ増加傾向に転じると予測されますので、今後の動向に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第49週(12月2日～12月8日)